

[標準様式例7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成27年度ダム施工合理化調査分析評価業務
業 務 概 要	本業務は、施工形態等の実施状況調査により得られたダム施工合理化調査データ（基礎データ）を基に、適用範囲、工法、施工機種・規格、配置人員、作業能力等について近年のダム技術の施工実態の変化要素についての分析及び評価を行い、ダム施工合理化のための基礎資料を作成するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成27年 7月22日
契 約 業 者 名	平成27年度ダム施工合理化調査分析評価業務ダム技術センター・日本振興設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都台東区池之端2-9-7
契 約 金 額	¥25,164,000円（税込み）
予 定 価 格	¥25,725,600円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定が行われた。 平成27年度ダム施工合理化調査分析評価業務ダム技術センター・日本振興設計共同体は、技術提案書において総合的に優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 （ 自 ）	平成27年7月23日
履 行 期 間 （ 至 ）	平成28年3月11日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。